

図書だより



八幡市立南山小学校 図書室 令和8年夏休み前号

いよいよ夏休みですね。どんなふうに過ごすかは、みなさんしだい！計画をたてて充実した夏休みを過ごしてくださいね。そしてその計画の中に読書をいれてもらえるとうれしいです。じっくり読む、ゆっくり読む、息抜きに読むなどいろんな読み方がありますが、どの読み方でも楽しみながらを忘れずに。

夏休み用にかりた本は、8月28日（金）までに必ず返しましょう。



○図書室でかりた本の約束

1. 食べ物を食べながらや飲みながら、読まないようにします。
2. 小さな弟や妹、ペットなどに破られたり、かまれたりしないよう、手や口の届かない場所に置きましょう。
3. 出かける時には、図書室の本は家に置いて出かけましょう。
（出かけた先に忘れてしまうと、大変なことになります。）
4. ページが破れたりした時は、それ以上ひどくならないように大事に読んで、本を返す時に教えてください。絶対にセロハンテープなどで修理しないでください。学校司書が修理します。
5. ぬれた時は、すぐにかわかしてください。
6. 図書室の本は、いつも絵本バッグに入れておきましょう。



なつやす ちゅう かいかん び
夏休み 中 の開館日は、



7月 21日（火）・22日（水）

9：00～10：30 本のかりかえのみです。

7月 27日（月）

9：00～12：00 読書感想文相談のみです。

感想文で使う本を読み終わっておきましょう。

相談するときは、その本を必ず持ってきてください。

相談は、児童だけでなく保護者同伴または保護者の方のみでもいいです。

図書ファイルは、図書室にあります。



夏休み中、図書室に来るときの約束

☆図書室に来るときは、必ずおうちの人に、行先と帰る時間を伝えましょう。

☆持ち物は、絵本バッグ、うぐつ。暑いので、お茶、ハンカチ、ぼうし。

☆図書室への入室は、小学生のみです。感想文の相談は、保護者の方も入室できます。

☆「本を返すだけ」はできません。必ずかりかえましょう。



図書室で、宿題はできません。

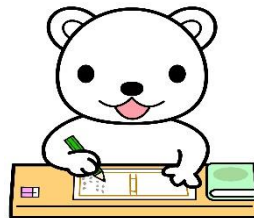
裏面に、読書感想文についてのアドバイスあります。

どくしょかんそうぶん か かた 読書感想文の書き方アドバイス

- ① 何をどんなふうに書けばいいのかわからない時は、質問に答えて書いていこう。
おうちの人に手伝ってもらえる時は、おうちの人にいろんな質問をしてもらいながら書いていくと自分がどう感じていたのかわかるようになるよ。(1, 2年生は、おうちの人(ひと)が記者(きしゃ)になって質問(しつもん)し、お子(こ)さんが言ったことを「そのまま」書き留(と)めてあげてください。)
- ② 記入(きにゆう)が終わ(お)ったら、どの順番(じゅんばん)に書いていくのか決めていこう。(質問(しつもん)の上(うへ)に書く順番(じゅんばん)の番号(ばんごう)をつけると分かりやすい) 始め(はじ)、中(なか)、終わり(ししょうてんけつ) (起承転結(いしき))を意識(いしき)しよう。
- ③ 順番(じゅんばん)が決(き)まったら、文章(ぶんしょう)を見直(みなお)して、漢字(かんじ)にしたほうが良い(よ)ものや句読点(くとうてん)などを、赤えんぴつで書き足(た)そう。原(げん)こう用紙(ようし)に書(か)くときは、どの質問(しつもん)で一マス下(さ)げるのか(段落(だんらく))も分かる(わ)るようにしておこう。
- ④ 文体(ぶんたい)をそろえることも意識(いしき)する。たとえば、「わたし」「ぼく」などどちらか(とう)に一(いつ)するといい。「思(おも)いました。」「思(おも)った。」「など(い)もていねいな言(かた)い方(かた)に(に)そろえるのか、言(い)い切(き)る形(かたち)にするのか(ぶんしょう)などもそろえていくと、文章(ぶんしょう)が(か)っこよくなる。
- ⑤ あとは、ていねいな字(じ)で原(げん)こう用紙(ようし)に書(か)けばできあがり。

どくしょかんそうぶん 読書感想文ってめっちゃおもしろい！！

- 理由(りゆう) * 思(おも)ったこと感(かん)じたことを書(か)くだけでいい。
- * 登場人物(とうじょうじんぶつ)の好(す)きなところや悪口(わるくち)をい(か)くら書(か)いても、誰(だれ)も傷(きず)つけないし、おこられることもない。
- * 偉(えら)そうに書(か)いてもいい。
- * 読(よ)むのはたん任(にん)の先生(せんせい)だから、先生(せんせい)を笑(わら)わせたり泣(な)かせたり「へえ～」と思(おも)わせたりさせてあげよう。みんなもつまらない感想文(かんそうぶん)を読(よ)むなんていやだと思(おも)うから、先生(せんせい)が読(よ)みたくなるように工夫(くふう)してみるといいね。



よ ひと ひ つ ぶんしょう か たの 読む人を引き付けられる文章を書くのは楽しいよ。

たとえ(たと) 書(か)き初(はじ)めに

- * 「最高(さいこう)に泣(な)けた！」「こいつめっちゃきらい」「読(よ)んでよかった本(ほん)一位(いち)！」
などインパクトのある文章(ぶんしょう)から書(か)いてみるのもおもしろい。そのあとに理(り)由(ゆう)を書(か)いていくと、読(よ)む人(ひと)に伝(つた)わりやすいね。
- * 読(よ)もうと思(おも)ったきかけやあらすじから書(か)くのも書きやすいよ。
- * 自分(じぶん)と登場人物(とうじょうじんぶつ)を比(くら)べながら書(か)く。読(よ)んでも何(なん)も感(かん)じなかつたよという人(ひと)や、もう書(か)くことがないという人(ひと)におすすめのテクニックです。

もの(ものがたり)が(に)た(が)て(ほんとう)は(はなし)を(よ)か(ひと)で(か)き(ひと)
物語(ものがたり)が苦手(こて)で本(ほん)当(とう)にあつた話(はなし)などを(よ)か(ひと)で(か)き(ひと)

どく しょ かん そう ぶん 読書感想文



- * その時代(じだい)や国(くに)のことについて感(かん)じたこと。
- * 登場人物(とうじょうじんぶつ)のや(じぶん)ったことについて、自分(じぶん)はどう思(おも)うのか。
- * これからどうな(じぶん)ってほ(じぶん)しいのか、自分(じぶん)ならな(じぶん)に(じぶん)が(じぶん)できるのか
- * 読(よ)んでみ(し)て、ど(し)んなことを知(し)ることができたのか
など書(か)いていくと(おも)いいと思(おも)うよ。

げん ようし か まえ 原こう用紙に書く前に

☆下準備(したじゅんび) (メモに書(か)く、ひらがなや漢字(かんじ)をていせいしておく。書(か)く順(じゆん)に並(なら)べていらないものをよけておく。)を(かな)ら(か)ず書(か)けます。

☆おうちの方(かた)へ

- 下書き(したが)の段階(だんかい)で原(げん)こう用紙(ようし)をどのくらい埋(う)められるか把(は)握(あく)して、足(た)りなければ先に質(さ)問(もん)を増(ふ)やしておく(か)と、ス(お)ムーズに書(か)き終(お)えられます。
- 理由(りゆう) * 下準備(したじゅんび)を(げん)しないで原(げん)こう用紙(ようし)にいきなり書(か)いていくと、何(なん)度も消(け)しゴ(け)ムで消(け)して書(か)き直(なお)す回(かい)数(すう)が(ふ)増(ふ)えるので、書(か)くのが(か)いやになるから。

いやだと思(おも)うことも、楽(たの)しくやれる方法(ほうほう)を見(み)つけていけると、ど(なん)んなこともき(き)っとやりとげられると思(おも)います。がんばって取(と)り組(く)んでみ(み)てくださいね！